

市長定例記者会見（令和4年10月11日）録

11時30分～12時11分

まず、題材に入ります前に、去る10月4日に、本市職員が、器物損壊などの疑いで逮捕された件につきまして、一言申しあげたいと存じます。

この度、本市職員が、このような形で逮捕されましたことは、市政に対する市民の信頼を大きく損なうものであり、大変重く受け止めますとともに、遺憾に存じているところでございます。

今後、この件につきましては、事実確認をしっかり行った上で、厳正に対処してまいりたいと存じます。

オミクロン株BA.5に対応した新型コロナワクチン接種の開始について

それでは、題材に入らせていただきます。本日は3件についてでございます。

まず、はじめに、「オミクロン株BA.5に対応した新型コロナワクチン接種の開始について」でございます。

本市の新規感染者数の状況でございますが、先月26日に全数把握の見直しが行われまして、本市独自の感染者数は発表されなくなりましたので不明ではございますけれども、県内の感染者数を見ても、下げ止まりの兆しが見えますものの、ある程度感染者数自体は減ってきて落ち着いてきているかなと思っています。本市におきましても同様の傾向にあらうかと思っております。

このような中で、本市のワクチン接種状況でございますけれども、10月6日（木）時点で3回目接種を終えられた方が約26万人で、接種率は61.7%、4回目接種を終えられた方は11万人1千人で、接種率が26.1%となっております。本市では国が掲げております、令和4年中、今年中に接種を希望するすべての対象者に対してオミクロン株対応のワクチン接種が受けられるようにしたいということで、本市といたしましても今月1日から3回目接種を終えていない方などへの対象を、このオミクロン株対応に拡大するなど接種の加速化を図っているところでございます。

今後4回目や3回目接種を終えた方に対しましても、来週21日以降、赤色の封筒で接種券を順次お送りしたいと思っています。接種を開始するということに

しておりますので、この接種券が届きましたら、その時に接種できるワクチンでの接種をできるだけご検討いただきたいと思いますっております。

先週BA.5対応型ワクチンが薬事承認され、今後、本市に約13万9千人分の配送が予定されております。そのうち、約1万4千人分が今週末には配送される予定ということでございます。そのため、BA.5対応型のワクチン接種につきましては、来週17日（月）から個別接種を開始し、十分な量のワクチンが配送される11月以降に集団接種を実施する予定といたしております。

なお、10月の集団接種につきましては、また予約に空きもございます。BA.5を待つという方もおられるかと思えますけれども、厚労省によりますと、BA.1対応型とBA.5対応型のいずれのワクチンについても、効果や安全性に大差はないとされているところでございますので、接種を希望される方はタイプにこだわらず、できるだけその時に打てるワクチンでワクチン接種を検討していただきたいとお願いしたいと存じます。

また、今年の冬は新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時流行することが懸念されております。国内におきまして、新型コロナウイルスの感染症の流行によりましてインフルエンザの感染者が減り、その分インフルエンザの免疫が低下しているというわけでございますので、インフルエンザが今年は流行するのではないかとと言われております。

新型コロナウイルスと同様インフルエンザにつきましても、ワクチン接種が非常に重要でございますので、ワクチン接種を希望される方は早めの接種を御検討いただきますようお願いいたします。

第2弾限定 I r u C a の販売について

続いては、新型コロナウイルス感染症の影響により、低迷している公共交通の利用を喚起するため、第2弾となる限定 I r u C a カードを販売いたします。

8月に第1弾の限定デザインの I r u C a カード販売をいたしました。今回、11月3日（木）に開催されます、「ことடன்電車まつり」に合わせて、デザインの異なる第2弾の限定 I r u C a カードを販売いたします。

販売場所は、「高松市仏生山交流センター・ふらっと仏生山」と「ことடன்瓦

町駅屋上」の2か所でございます、「ふらっと仏生山」では、午前10時から、また、「ことでん瓦町駅屋上」では、午後1時から、それぞれ各会場にて1,000枚ずつ、合計2,000枚を販売を予定しております。

また、今回も、限定I r u C aカードの価格といたしましては、利用可能な2,500円分とデポジット500円分を合わせて3,000円分相当を、2,000円で販売いたします。

また、I r u C aカードを使い、電車やバスを利用した方が、その日のうちに、市内のI r u C a加盟店で300円以上の買い物をした場合、1回100円分のポイントを付与するキャンペーンなども実施中でございます。

ぜひ、この機会に、I r u C aカードを活用していただきまして、公共交通の利用回復につなげていきたいというような御協力をお願いいたしたいと思っております。

学校給食への高松産ごじまん品を中心とした食材提供について

3点目、最後でございますが、地場産の農畜水産物の消費を喚起するため、市内の小学校及び市立中学校（小学校48校、中学校22校、合計70校）の学校給食に「高松産ごじまん品」を提供するものでございます。

提供するごじまん品といたしましては、オリーブ牛を始めといたしまして、ミカンの小原紅早生（おばらべにわせ）やブロッコリーなど、6品目を予定しております。

まず、第一弾といたしましては、10月は「オリーブ牛」を使用したメニューとなっております。お手元に資料ございますように、10月17日、18日に、市内11の小・中学校におきまして、「肉じゃが」を提供した後、順次、「ハヤシライス」と「炊き込みご飯」を提供してまいります。

以降、来年3月までの間、毎月1品目ずつ、ごじまん品を使用した給食メニューを提供してまいりたいと存じます。

また、これらの食材提供に加え、生産の様子や食材の魅力を解説する映像も制作いたしました。この映像は、各学校におきまして、給食の時間などで、児童や生徒に視聴してもらうことで、地産地消や、食育の推進につなげてまいりたいと

考えております。

では映像をご覧ください。

(1分間の映像を放映)

この映像は、本市の高松ムービーチャンネルでも、御覧いただけますので、ぜひ、視聴していただければと存じます。

私といたしましては、今後とも、こうした取組などを通じて、現下の原油高・物価高騰により、厳しい経営を強いられている市内農畜水産業を少しでも支援をしてみたいと思っております。そして、ポストコロナを見据えた社会経済活動の活性化に向け、鋭意取り組んでみたいと存じます。

【記者質問】

【記者】

高松商業高校の浅野選手が今年のドラフトで注目されているが、期待は

【市長】

今年の夏の甲子園で、高松商業高校が出場し、その中で浅野選手が甲子園でホームランを3本打つなど大活躍し、高松商業をベスト8に導いたということで、非常に有望な選手ということで、我々市民としても今後の活躍に期待をしているところです。

浅野選手自身もプロ野球の選手になるということを表明されており、プロの球団でも早くも1位指名を表明しているところもあるなど、期待は高まるばかりかと存じております。

ドラフトで指名されることを私自身も心待ちにしており、多くの市民の方もそうではないかなと。ただ今はドラフト前でございますので、あまり過剰な期待をかけることにはしたくないと思っておりますが、言ってみればプロ野球でプレーをすることになりましたら、本市出身で中西太（なかにし ふとし）さんがいます。中西太さんは高校時代に甲子園でホームランを打ったりして怪童と呼ばれておりましたが、まさに浅野君は中西太さんに次ぐ怪童2世、香川の怪童2世、高松の怪童2世と言ってもいいのではないかと考えています。

従いまして、中西太さんのように西鉄ライオンズで大活躍されましたが、プロ

に行っても大活躍をして、市民の皆様には大きな夢と希望を与えていただけるような選手になっていただきたいと思います。

【記者】

今年のインフルエンザワクチンの供給量は新型コロナウイルス感染症との同時流行が懸念されるため、過去最大となる見通しですが市への供給量は？

【保健予防課】

供給量につきましては、例年を上回る供給量とお聞きしています。各県の配分に応じて対応してまいりたいと思います。

【市長】

すでに冬を迎えておりますオーストラリアでインフルエンザが流行したということで、日本の冬も流行するのではないかとということです。

新型コロナのワクチン接種については、他のワクチン接種との間で13日の期間を空けるということにしていますが、インフルエンザワクチンの接種に限り、同時接種も可能と厚労省がしておりますので、ぜひともできるだけ早めにインフルエンザワクチンについても接種を検討していただきたい。コロナワクチンとの同時接種もできるので、それに合わせて御検討いただければと思っています。

【記者】

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念されるが、医療体制をどう確保していくのか

【市長】

第7波にかなりひっ迫した状況になり、発熱外来は日曜日の当番医制度を取っているところに患者が集中することもあり、医師会の協力も得て、医師会の発熱外来センターを作ってください、分散することで対応しました。

従いまして、インフルエンザワクチン等の接種の希望の状況等にもよりますが、インフルエンザワクチンは個別接種になるので、個別の病院での調整も併せて状況も見ながら市としてやるべきことがあれば調整していきたいと思います。

今それほど大きなインフルエンザワクチンの同時接種だけで混乱がおきるとは考えていません。流行との状況を見ながらということになると思いますが、その

都度臨機応変に対応してまいりたいと思います。

【記者】

全国旅行支援の開始と水際対策が緩和されたが観光への期待は

【市長】

本日からいわゆる全国旅行支援という形で観光の移動の自由、割引制度が始まりました。香川県においても9月30日に、全国を対象とした旅行支援事業「新うどん県泊まってかがわ割（全国旅行割）」が発表されたところでございます。

ちょうど高松市、あるいは香川県においては、瀬戸内国際芸術祭秋会期が真っ最中で、3連休の間も若者を中心とした観光客が多く見られました。

これが全国旅行割が新たにスタートしますと、より多くの方が本市を訪れていただけると期待しています。また、コロナ禍で打撃を受けた観光・交通事業者は非常に厳しい状況でしたが、これによってかなりの回復が見込めるのではないかと、これらの産業の再生の起爆剤になるものと期待しております。

また今回の国の措置に合わせて、市独自の旅行支援策ということで、「Reビジット高松キャンペーン」をやっています。宿泊のホテルや旅館に泊まった場合にもう1度泊まる場合はほとんどただになるよ、というキャンペーンでございますが、これらについてももう1度周知をしながら、より多くの方に利用していただき、観光需要が長く続くような措置を考えていきたいと思っております。

いずれにいたしましても、コロナ禍がおきまして、観光産業は低迷が続き厳しい状況でした。それをどうにか取り返すべく、多くの人に来ていただければと思っておりますし、水際対策の緩和も始まったので、インバウンド需要にも今後期待をしてまいりたいと考えています。

【記者】

11月23日から高松空港のソウル線が再開することへの受け止めは

【市長】

高松空港の国際直行便は4路線ありますが、令和2年3月から2年半の間運休を余儀なくされています。この度、周りの地方空港、近隣空港に先駆けて、高松—ソウル線が運行を11月末に再開すると決まりましたことは、本市の観光分野

を始めとする地域経済の回復、活性化に繋がるということで、大いに期待しています。

本市も今後とも県や高松空港株式会社など関係機関と連携しながら、利用促進に努めるとともに、あと3路線についてもできるだけ早く再開をされるように県と協力してまいりたいと考えています。